



発行 全国治水期成同盟会連合会

東京都千代田区平河町2-7-5 (砂防会館内)
電話 03(3222)6663 FAX 03(3222)6664

編集・発行人 大場真弥

印刷所 株式会社白橋印刷所

会員(定価1部100円) その他一般(定価1部150円)
毎月1回15日発行



新春神代神楽 (全水連事務局)

目次

年頭所感	全国治水期成同盟会連合会会長 参議院議員 陣内 孝雄	2
新年のご挨拶	国土交通省河川局長 渡辺 和足	3
平成18年度河川局関係予算(案)の概要(速報版)		4
平成18年度全国治水大会青森大会	青森県	12
全水連だより 平成18年度全水連行事予定		12

年頭所感

水 害 サ ミ ッ ト に 学 ぶ

全国治水期成同盟会連合会会長
参議院議員 陣内孝雄

明けましておめでとうございます。皆様にはお元気でよい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

近年は、全国のどこかで自然災害が発生しているのが、残念ながらごく当たり前のようになってまいりました。

昨年9月、災害を受けた首長さんが集い開催された水害サミットでは、今や自治体トップの仕事が危機管理になっており、首長の対応一つで被害が大きくなるし、軽減することも出来ると強く訴えられております。もっともなご意見であり、治水事業に携わるわれわれ関係者にとりましては、改めて大きな教訓を与えてくれた意義深い会議であったと思っております。

首長さんはどうすれば良いのか。先ずもって災害経験での反省点、成功例の情報開示が大変重要でありますし、他の町での経験に学ぶことは意義あることであります。とかく今までは、災害が終わってしまえばそのまま埋もれてしまう一過性のものでしたが、災害の教訓を生かそう、被災地のノウハウを共有しようという動きが出てきたことは注目すべきことであります。持続的な「情報の共有化」が欠かせない重要な事柄になってまいりました。首長は災害時には最前線の指揮者であり、避難勧告・避難指示等はあまり発令したくないというのが本音で、苦悩と苦渋に満ちた決断になりますが、それだけに客観的で正確な情報が必要になります。16年7月の集中豪雨に見舞われた新潟県見附市や、10月の台風23号に遭遇した兵庫県豊岡市は、避難情報を発令するための客観的で正確な情報を入手するシステム・体制づくりが基本で、その必要性を強く訴えられております。オブザーバーとしてご出席された国の方からも、出先機関である河川事務所、ダム管理所のレーダー雨量計やテレメーター等により、雨の情報、水位の情報がかなり正確に把握できることから、どこまで水位が上昇してきたら、避難勧告・避難指示を出すかご相談いただき、是非データーを活用いただきたいとの提案がなされております。これらの情報は活用していかなければならないと思っております。

また、ダムに関するご提案がいくつかありました。16年の新潟豪雨では、刈谷田川の刈谷田川ダムで約325万 m^3 、五十嵐川の笠掘ダムと大谷ダムで約1,713万 m^3 の洪水を貯留して、下流の洪水被害を軽減しておりますし、17年の台風14号では、吉野川の早明浦ダムで約14,800万 m^3 の洪水を貯留（丁度渴水で貯水池が空っぽになっていた）して、下流の被害軽減に大きな効果を発揮しています。他方、多目的ダムには他の利水容量を活用して、更なる洪水調節を応急的に求める、いわゆる「ダムを空っぽにして洪水を貯めてくれればもっと助かる。」というご意見があります。国は早速18年度予算で、ダムの利水容量を事前放流できる制度を打ち出しております。また最近では、大量の流木が流れ出ております。台風23号の円山川では、流木が被害を拡大しておりますし、15年の台風10号の北海道沙流川でも、膨大な流木が発生しました。沙流川では二風谷ダムで流木を貯留したことにより、ダムの上流と下流域で被害に大きな差異が生じたと報告されております。ダムが流木を貯留する効果は大きなものがあります。

このほか、大規模地震発生の確率も高くなってきており、水害と地震・高潮の違いによる避難所の確保も重要な課題です。昨今は気候変動の幅が大きく台風や集中豪雨が増加しており、アメリカのハリケーン・カトリーナの大災害にも見られるように、大きな災害が発生する傾向にあるほか、今冬は20年ぶりの豪雪となり豪雪災害も懸念されます。

私ども全水連といたしましても、会員皆様のご意見をいただきながら、国と地方との連携を一層深めるよう努めてまいります。関係各位の更なるご指導・ご支援をお願い申し上げますとともに、本年は明るい良い年になりますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶といたします。

新年のご挨拶

「安全・安心」な社会のために



国土交通省河川局長

渡辺和足

謹んで新年のご挨拶申し上げます。日頃の皆様の河川行政に対する深いご理解とご協力に対し、厚く御礼申し上げます。

一昨年の新潟・福井豪雨や10個の台風の上陸、昨年台風14号の影響による首都圏の時間雨量100mmを超える集中豪雨や九州地方の連続雨量1,000mmを超える豪雨等により、各地で甚大な水害、土砂害が発生しました。また新潟県中越地震、福岡県西方沖地震など地震災害も頻発しております。このような自然災害の頻発を踏まえ、政府全体で安全・安心の確保に力を入れるとともに、国民の安全に対する意識も大変高くなっています。

一方では、高齢社会の進展による災害時要援護者の増加、地域コミュニティの衰退による地域防災力の低下など、社会的にも水害に対する抵抗力の低下がみられ、水害対策の緊急性がますます高まっているところです。

このような自然的条件、社会的条件の変化を的確に捉えた水害・土砂災害対策を適切に実施することが必要です。河川局では昨年の大規模降雨、及びハリケーンカトリーナの高潮災害の教訓を踏まえ委員会で対応方針を検討していましたが、大規模降雨については昨年末、高潮対策については本年早々に提言をいただく運びとなりました。

これらの提言では、被害を最小限にするためには、ハード対策とともに土地利用を含めた地域の対策を一体的に実施することが重要である旨を内容としています。今後ハードソフトと一体となった対応を推進していきたいと考えています。

アメリカでは、ハリケーンカトリーナによりニューオーリンズを中心に50万人以上の方が被災し、被害総額は約22兆円といわれています。これを防ぐ施設を事前に整備するために必要な費用は約2,200億円と試算され、被害額の1%に過ぎません。

わが国でも、平成12年の東海豪雨災害では約6,700億円の被害がでましたが、被災後緊急的な対策のため投じられた約700億円を事前投資しておけば約5,500億円の被害軽減につながったものと試算されています。財政状態の厳しい中ではありますが、再度災害を防ぐとともに未然の被害防止のため全力を尽くしていきたいと思っております。

災害から国民、住民の生命財産を守ることは国および地方自治体の基本的責務ですが、「安全・安心」を確保していくためには、地域の住民の方々や行政そして国が一体となって進めていくことが必要であると考えております。本年もハード整備とソフト対策が一体となった防災・減災対策を強力に推進して参りますので、全水連の皆様方の積極的な活動による一層のご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご発展を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成18年度河川局関係予算（案）の概要（速報版）

平成18年度予算は、去る12月20日に財務省原案が内示され、12月24日に政府案が決定されました。河川局関係では、国費ベースで4%の減と相変わらず厳しい内容となっております。詳細は2月号に譲りますが、速報版をお届けいたします。

I. 予算の概要

◎気候変動の影響等により集中豪雨等による被害が増加
◎床上浸水や土石流被害等人命や生活に深刻な影響を及ぼす被害の緊急軽減対策に重点化

- 床上浸水被害、土石流被害等の緊急軽減対策の推進 1,689億円【1.12】
- 地震防災対策強化地域等における緊急津波・高潮対策の推進 81億円【1.10】
 - ・津波・高潮危機管理対策緊急事業の創設 等

◎ハード整備とソフト対策を組み合わせた水害・土砂災害対策、既存ストックの有効活用等、確実な成果が得られるよう防災・減災対策を質的転換

- 土地利用状況を考慮しつつ、輪中堤や浸水防止施設等のハード整備とハザードマップ等ソフト対策

○河川局所管予算内示総括表（国費）

(単位：百万円)

事 項	前年度予算額 (A)	内 示 額 (B)	対前年度倍率 (B/A)
国 土 基 盤 河 川	505,570	496,797	0.98
地 域 河 川	217,581	201,288	0.93
砂 防	148,825	145,559	0.98
急 傾 斜 地 崩 壊 対 策	22,621	21,565	0.95
総 合 流 域 防 災	72,928	66,303	0.91
海 岸	25,818	25,013	0.97
独立行政法人土木研究所	1,448	1,446	1.00
計	994,791	957,971	0.96
災 害 復 旧 関 係	49,847	50,602	1.02
災 害 復 旧	38,692	34,871	0.90
災 害 関 連	11,155	15,731	1.41
合 計	1,044,638	1,008,573	0.97

(注) 国費には、道路関係社会資本分として内示額25,400百万円（前年度26,600百万円）を、住宅地基盤特定治水施設等整備事業として内示額9,458百万円（前年度7,367百万円）を、下水道関連特定治水施設整備事業として内示額14,550百万円（前年度16,393百万円）を含む。

- を組み合わせた治水対策の推進 906億円【1.21】
 - ・土地利用一体型水防災事業の創設 等
 - ・総合内水対策緊急事業の創設 等
 - 警戒避難体制と一体となった土砂災害対策の推進 331億円【1.19】
 - ・砂防関係事業の採択基準改正
 - 既存ストックを徹底的に有効活用し、事業効果を早期発現
 - ・洪水調節施設機能高度化事業の創設 663億円の内数*
 - ・利水容量の事前放流に伴う損失補填制度の創設 250億円の内数**
- *総合流域防災事業 **直轄堰堤維持費

◎木曾川水系連絡導水路事業の実施計画調査、肱川水系鹿野川ダム改造事業の建設事業、新潟県芋川地区の直轄地すべり対策事業に新規着手

II. 新規事業の創設及び拡充等の概要

① 治水事業

○土地利用一体型水防災事業の創設

土地利用状況等を考慮し、連続堤で整備した場合よりも効率的かつ効果的である場合には、床上浸水被害等を解消するために行う輪中堤の築造や宅地の嵩上げ、浸水防止施設、貯留施設等の整備等を実施する。

○総合内水対策緊急事業の創設

外水対策に対して劣後であった内水対策について、ハード対策とソフト対策を河川管理者と地方公共団体等が連携して緊急的・先行的に実施する。

○総合流域防災事業の拡充（洪水調節施設機能高度化事業の創設）

総合流域防災事業を拡充し、洪水調節機能の向上を図るために行う既設の遊水地、調節池等の改良を実施する。

○地震・高潮等対策河川事業の拡充（河口部における津波対策等の拡充）

津波・高潮対策事業に津波・高潮による浸水想定区域に係る調査を追加するとともに、津波による被害が想定される指定区間内の一級河川又は二級河川のうち、耐震対策を必要とする河川についての耐震対策事業等を追加する。

○直轄堰堤維持事業の拡充（事前放流に伴う損失補填）

事前放流した利水容量が対象とした洪水で回復せず、利水者に実損が生じた場合、一定の基準に基づき公共費で利水者の実損額を補償する。

○砂防関係事業の採択基準改正（警戒避難体制との連携強化）

砂防堰堤等のハード施設の新規採択にあたっては、原則として当該ハード施設整備によって被害が軽減される地域内において、土砂災害危険箇所の公表等のソフト対策が実施済であることを義務付け。あわせて、保全対象に避難場所を含む土砂災害危険箇所について、保全対象が避難場所のみであっても採択できるよう事業制度を改正する。

② 海岸事業

○津波・高潮危機管理対策緊急事業の創設

津波・高潮発生時における人命の優先的な防護の推進を目的として、従来の津波危機管理対策緊急事業を高潮対策にも拡充し、一連の防護区域を有する海岸において、地方が作成する津波・高潮危機管理対策緊急事業計画に基づき、津波・高潮対策を推進する制度を創設する。

③ 新規箇所

○木曾川水系連絡導水路事業の実実施計画調査着手

異常渇水時において愛知県等における渇水被害を軽減するため、徳山ダムの渇水対策容量に貯留した水を木曾川・長良川に導水するとともに、愛知県及び名古屋市において水道用水等を確保するため、徳山ダムで開発した水道用水等を木曾川に導水する。

○鹿野川ダム改造事業の建設事業着手

肱川流域の洪水被害の軽減、豊かで自然な流れを回復するため、既設鹿野川ダム（肱川水系肱川）の改造を行うとともに、発電容量を振り替え、洪水調節容量の増強、環境（不特定）容量の新設を行う。

○芋川地区直轄地すべり対策事業の新規着手

新潟県中越地震により斜面崩壊が多数発生した新潟県芋川流域において、集中的かつ迅速に対策を講じ地域の早期復興に資するため、直轄地すべり対策事業に新規着手し、対策工（抑制工、抑止工）を施工する。平成18年度は、調査設計を進めるとともに、集水井、排水ボーリング等の工事を行う。

Ⅲ. 新規採択箇所名等

1. 実施計画調査着手

(直轄) 河川総合開発事業 ^{きそがわ きそがわすいけいれんらくどうすい} 木曾川：木曾川水系連絡導水路事業 (岐阜県)

木曾川水系連絡導水路事業 (直轄河川総合開発事業)

1. 目的

- ・異常渇水時において愛知県等における渇水被害を軽減するため、徳山ダムの渇水対策容量に貯留した水を揖斐川から木曾川及び長良川に最大20m³/s導水する。
- ・愛知県及び名古屋市内において水道用水等を確保するため、徳山ダムで開発した水道用水等4.0m³/sを揖斐川から木曾川に導水する。

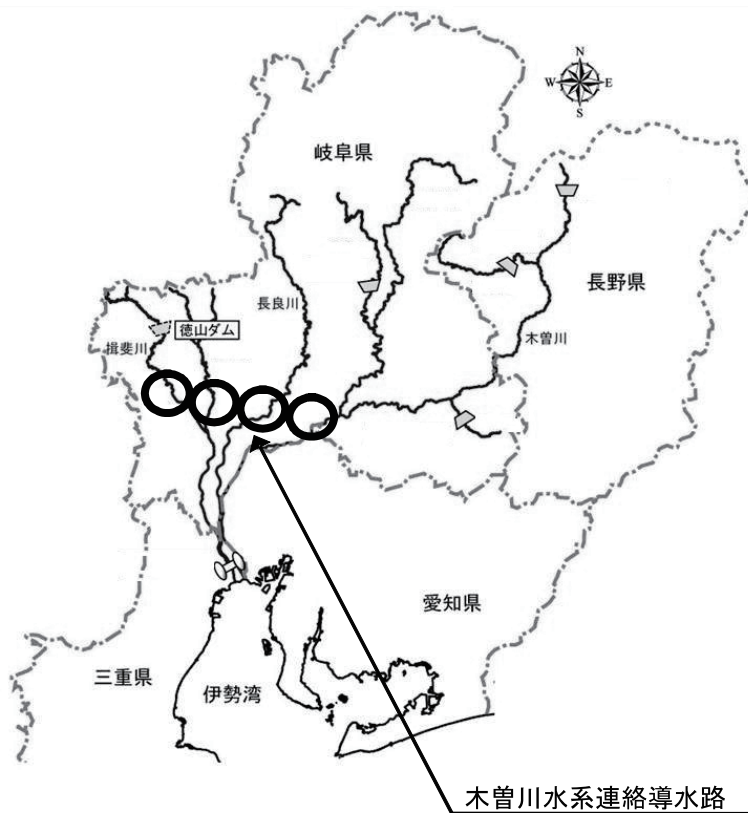
2. 内容

- ・位置：呑口：岐阜県揖斐郡揖斐川町
吐口：岐阜県加茂郡坂祝町
- ・河川名：呑口：木曾川水系揖斐川
吐口：木曾川水系木曾川
- ・導水路延長：約44 km
- ・総事業費：約900億円

3. 科目

- (項) 河川総合開発事業費
- (目) 直轄河川総合開発事業費

4. 位置図



2. 新規建設事業着手

(直轄) 河川総合開発事業 ^{ひじかわ} ^{かのがわ} 肱川：鹿野川ダム改造事業(愛媛県)

鹿野川ダム改造事業 (直轄河川総合開発事業)

1. 目的

・ 肱川流域の洪水被害の軽減、豊かで自然な流れを回復するため、既設鹿野川ダム（肱川水系肱川）の改造を行うとともに、発電容量を振り替え、洪水調節容量の増強、環境（不特定）容量の新設を行う。

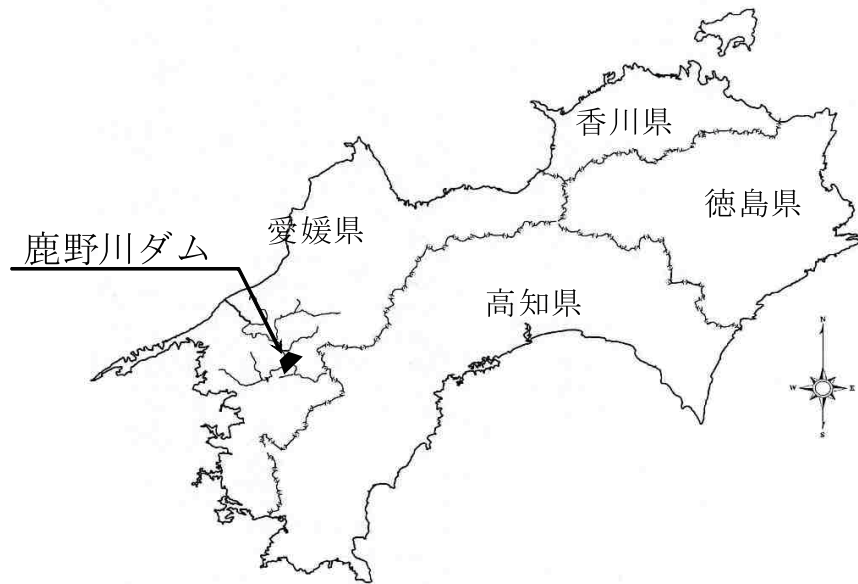
2. 内容

- ・ 位置：愛媛県大洲市肱川町山鳥坂
- ・ 河川名：肱川水系肱川
- ・ 改造事業内容：貯水池容量の振り替えによる洪水調節容量の増強、環境（不特定）容量の新設、トンネル洪水吐の新設、利水放流施設の増設、選択取水設備の設置等
- ・ 総事業費：約420億円

3. 科目

- (項) 河川総合開発事業費
- (目) 直轄河川総合開発事業費

4. 位置図



Ⅳ. 平成18年度予算ダム別内訳表

【直轄・機構】

(単位：百万円)

道府県名	分類	区分	ダム名	内示額		備考
				共同費	国費	
北海道	特ダム	建設	沙流川・沙流川総合開発	1,159	955	二風谷、平取
	〃	〃	石狩川・忠別	8,459	6,622	
	〃	〃	留萌川・留萌	4,193	3,559	
	〃	〃	石狩川・幾春別川総合開発	1,707	1,336	新桂沢、三笠ぼんべつ
	〃	〃	天塩川・サンル	1,173	986	
	河川総合	〃	石狩川・夕張シューパロ	5,399	4,590	
青森	特ダム	建設	岩木川・津軽	3,717	2,938	
岩手	特ダム	建設	北上川・胆沢	16,740	12,860	
宮城	特ダム	実調	鳴瀬川・鳴瀬川総合開発	160	112	田川第一、田川第二
秋田	特ダム	建設	米代川・森吉山	14,410	11,965	
	〃	〃	雄物川・成瀬	2,442	2,005	
	〃	実調	子吉川・鳥海	330	277	
山形	特ダム	建設	最上川・長井	10,195	7,973	
	〃	〃	荒川・横川	5,778	4,462	
茨城	流況調整	建設	利根川那珂川・霞ヶ浦導水	2,200	1,540	
栃木	特ダム	建設	利根川・湯西川	8,567	4,708	
	水機構	〃	利根川・思川開発	7,920	5,067	
群馬	特ダム	建設	利根川・八ッ場	35,689	14,300	
	〃	実調	利根川・吾妻川上流総合開発	140	98	
	河川総合	〃	利根川上流ダム群再編	360	252	
埼玉	河川総合	実調	荒川上流ダム再開発	100	70	大洞、二瀬(再)
	〃	〃	利根川上流ダム群再編	360	252	
	水機構	建設	荒川・滝沢	7,300	2,791	
	〃	〃	荒川・浦山	439	147	償還のみ
〃	〃	利根川・武蔵水路改築	240	167		
長野	特ダム	建設	天竜川・三峰川総合開発	720	536	戸草、美和(再)
富山	特ダム	建設	庄川・利賀	2,200	1,667	
岐阜	特ダム	建設	木曾川・新丸山	3,030	2,105	
	〃	実調	矢作川・上矢作	80	56	
	河川総合	建設	木曾川・横山ダム再開発	2,470	1,781	
	〃	実調	木曾川・木曾川水系連絡導水路	620	435	
〃	水機構	建設	木曾川・徳山	24,932	11,918	共同費には、公共費(交付金)を水資源機構の自己資金で先行調整する7,800百万円を含む。
静岡	河川総合	実調	天竜川・天竜川ダム再編	800	560	
愛知	特ダム	建設	豊川・設楽	1,850	1,294	
三重	水機構	建設	淀川・川上	1,510	744	
福井	特ダム	建設	九頭竜川・足羽川	720	564	
滋賀	特ダム	建設	淀川・大戸川	3,000	2,103	
	水機構	〃	淀川・丹生	660	255	
京都	特ダム	建設	淀川・天ヶ瀬ダム再開発	140	84	

道府県名	分類	区分	ダム名	内示額		備考
				共同費	国費	
京 都	水 機 構	建 設	淀川・日吉	560	238	償還のみ
大 阪	特ダム	建 設	淀川・猪名川総合開発	553	387	余野川
兵 庫	特ダム	建 設	淀川・猪名川総合開発	553	387	余野川
奈 良	特ダム	建 設	紀の川・大滝	3,890	2,418	
和 歌 山	特ダム	建 設	紀の川・紀の川大堰	4,439	2,224	
鳥 取	特ダム	建 設	千代川・殿	5,260	4,330	
鳥 根	特ダム	建 設	神戸川・志津見	8,464	7,376	
	〃	〃	斐伊川・尾原	9,130	7,602	
広 島	特ダム	建 設	江の川・灰塚	3,420	2,334	
徳 島	河川総合	実 調	那賀川総合整備	103	80	
愛 媛	河川総合	建 設	肱川・山鳥坂	1,000	784	
	〃	〃	肱川・鹿野川ダム改造	650	510	
高 知	特ダム	建 設	渡川・中筋川総合開発	870	753	中筋川、横瀬川
福 岡	河川総合	実 調	筑後川水系ダム群連携	280	209	
	水 機 構	建 設	筑後川・小石原川	1,050	672	
佐 賀	特ダム	建 設	嘉瀬川・嘉瀬川	12,270	9,576	
	〃	実 調	筑後川・城原川	120	98	
	流況調整	建 設	筑後川・佐賀導水	2,200	1,649	
長 崎	特ダム	建 設	本明川・本明川	450	381	
熊 本	特ダム	建 設	球磨川・川辺川	3,400	2,590	
	〃	実 調	緑川・七滝	20	16	
	河川総合	建 設	白川・立野	670	530	
大 分	特ダム	建 設	大分川・大分川	2,998	1,717	
	水 機 構	〃	筑後川・大山	5,860	2,607	
沖 縄	特ダム	建 設	沖縄東部河川総合開発	1,160	857	億首、漢那
	〃	〃	沖縄北西部河川総合開発	10,992	3,241	大保、比地、奥間

【補助】

(単位：百万円)

道府県名	分類	区分	ダム名	内示額		備考
				共同費	国費	
北 海 道	多 目 的	建 設	徳富川・徳富	6,800	1,999	
	〃	〃	当別川・当別	2,050	1,271	
	〃	〃	厚真川・厚幌	1,299	708	
青 森	多 目 的	建 設	堤川・駒込	419	209	
	治 水	実 調	大和沢川・大和沢	30	15	
岩 手	多 目 的	建 設	築川・築川	284	156	
	〃	〃	盛川・鷹生	2,750	1,341	
	治 水	〃	気仙川・津付	232	116	
宮 城	多 目 的	建 設	筒砂子川・筒砂子	0	0	※
	〃	〃	迫川・長沼	3,340	1,834	

道府県名	分類	区分	ダ ム 名	内示額		備 考
				共同費	国費	
宮 城	治 水	実 調	川内沢川・川内沢	0	0	※
秋 田	多目的	建 設	小坂川・砂子沢	3,830	2,054	
	〃	実 調	齊内川・真木	0	0	※
山 形	多目的	建 設	鬼面川・綱木川	860	342	
	治 水	実 調	最上小国川・最上小国川	118	59	
福 島	多目的	建 設	今出川・今出川総合開発	70	37	今出、千五沢
	〃	〃	木戸川・木戸	1,716	764	
群 馬	多目的	建 設	烏川・倉測	0	0	※
	〃	〃	碓氷川・増田川	95	44	
千 葉	多目的	建 設	夷隅川・大多喜	82	31	
新 潟	多目的	建 設	破間川・広神	2,729	1,496	
	〃	〃	胎内川・奥胎内	360	179	
	治 水	〃	儀明川・儀明川	48	24	
	〃	〃	常浪川・常浪川	20	11	
	〃	〃	鶴川・鶴川	190	95	
山 梨	多目的	建 設	琴川・琴川	768	338	
長 野	多目的	建 設	浅川・浅川	0	0	※
	〃	〃	砥川・下諏訪	0	0	※
	〃	〃	夜間瀬川・角間	0	0	※
	治 水	〃	上川・蓼科	0	0	※
	〃	実 調	清川・清川	0	0	※
石 川	多目的	建 設	町野川・北河内	652	323	
	治 水	〃	犀川・辰巳	700	350	
岐 阜	多目的	建 設	荒城川・丹生川	1,322	658	
	〃	〃	大八賀川・大島	20	10	
	治 水	〃	長良川・内ヶ谷	171	94	
静 岡	多目的	建 設	太田川・太田川	1,718	665	
愛 知	多目的	建 設	鳥川・男川	40	20	
三 重	治 水	建 設	加茂川・鳥羽河内	246	123	
福 井	多目的	建 設	河内川・河内川	136	67	
	〃	〃	浄土寺川・浄土寺川	1,549	750	
	〃	〃	吉野瀬川他・日野川総合開発	2,391	1,223	榑谷、二ツ屋導水、吉野瀬川
滋 賀	治 水	建 設	安曇川・北川	262	144	
	〃	〃	芹川・芹谷	326	163	
京 都	多目的	建 設	畑川・畑川	220	90	
大 阪	多目的	建 設	安威川・安威川	4,588	2,183	
	治 水	〃	大津川・横尾川	634	317	
兵 庫	多目的	建 設	新湊川・石井	130	65	
	〃	〃	武庫川・武庫川	0	0	※
	治 水	〃	千種川・金出地	185	93	平成17年度は多目的
奈 良	治 水	建 設	岩井川・岩井川	200	100	
和 歌 山	多目的	建 設	切目川・切目川	500	248	

道府県名	分類	区分	ダム名	内示額		備考
				共同費	国費	
島 根	多目的	建設	浜田川・浜田川総合開発	354	177	第二浜田、浜田(再)
	治水	〃	都治川・波積	904	452	
	〃	〃	益田川・益田川	72	36	
	〃	実調	三隅川・矢原川	40	20	
広 島	多目的	建設	沼田川・福富	1,803	789	
	治水	〃	八幡川・梶毛	60	30	
	〃	〃	賀茂川・仁賀	376	188	
山 口	多目的	建設	錦川・平瀬	626	312	
	〃	〃	深川川・大河内川	225	96	
香 川	多目的	建設	香東川・椋川	655	275	
	〃	〃	別当川・内海ダム再開発	300	143	
	〃	〃	湊川・五名ダム再開発	122	61	
	治水	〃	綾川・綾川ダム群連携	100	50	長柄(再)、田万
高 知	多目的	建設	和食川・和食	182	83	
福 岡	多目的	建設	那珂川・五ヶ山	6,655	1,860	
	〃	〃	祓川・伊良原	968	354	
	〃	実調	大根川・清瀧	0	0	※
	治水	建設	巨瀬川・藤波	1,940	970	
佐 賀	多目的	建設	井手口川・井手口川	859	388	
	〃	〃	鹿島川・中木庭	1,312	599	
	〃	実調	有田川・有田川総合開発	0	0	有田(再)、猿川※
長 崎	多目的	建設	川棚川・石木	572	185	
	〃	〃	中島川他・長崎水害緊急	395	197	本河内高部・低部、西山、浦上、中尾、雪浦、雪浦第二
	〃	〃	伊木力川・伊木力	788	308	
	〃	〃	志佐川・笛吹	394	96	
	〃	実調	村松川・村松	0	0	※
熊 本	多目的	建設	路木川・路木	115	48	
	治水	〃	川辺川・五木	19	14	
大 分	治水	建設	稲葉川他・竹田水害緊急	5,100	2,805	稲葉、玉来
宮 崎	多目的	建設	一ツ瀬川・吹山	0	0	※
鹿 児 島	治水	建設	新川・西之谷	614	307	
沖 縄	多目的	建設	儀間川他・儀間川総合開発	150	135	儀間、タイ原

(注) 1. 共同費及び国費は治水事業のみの額であり、道路事業及び下水道事業並びに住宅事業に関するものを含まない。

2. 備考欄の※の事業については、準備段階にある事業等のうち、事業見直し検討の途上であり、当面の間、事業進捗が見込めない事業について、補助事業としての予算計上を見送るものであり、見直しの結果、事業促進が方向づけられた場合には、予算計上を再開するものである。

平成18年度全国治水大会 青森大会

— 6月8日(木) 青森市において開催 —

青森県河川砂防課

平成18年度の全国治水大会が、青森県において開催されることとなりましたので、開催日程等について、下記のとおりお知らせいたします。

●開催月日 平成18年6月8日(木)

●開催場所 青森市「ぱるるプラザ青森」

翌6月9日(金)の現地視察としては、治水関連事業に加え、世界自然遺産である白神山地を紹介する施設や、国立公園ともなっている十和田湖、また、縄文時代をいまに伝える三内丸山遺跡など、魅力あるコースを用意したいと考えております。

正式な開催案内は、4月に差し上げることとなりますが、どうか、多数の皆さまに御来県いただきますよう、心からお待ちしております。

なお、開催地の県都・青森市は、去る平成17年4月1日、旧浪岡町との合併により、本県初の30万都

市となりました。

現地視察コース(予定)

■青森市内コース■

横内川多目的遊水地のほか、三内丸山遺跡、ねぶたの里

■十和田湖方面コース■

薦川流路工(火山砂防事業)のほか、奥入瀬溪流、十和田湖

■津軽・白神方面コース■

津軽ダム(岩木川上流に建設中の国直轄の多目的ダム)のほか、白神山地ビジターセンター

■県南方面コース■

浅水川河川改修事業(国1事業、県4事業の連携による重点的な整備、H16完)のほか、八戸市内

<全水連だより>

平成18年度 全水連行事予定

(平成18年1月6日現在)

全国治水期成同盟会連合会

月 日	(曜)	時 刻	行 事	会 場
4月27日	(木)	11:00	全水連春季理事会	麴町会館
6月8日	(木)	13:00	第58回全水連総会	青森市ぱるるプラザ青森
6月8日	(木)	13:30	18年度全国治水大会	青森市ぱるるプラザ青森
10月19日	(木)	11:00	全水連秋季理事会	麴町会館
11月22日	(水)	13:30	18年度治水事業促進全国大会	砂防会館別館

(注) 各地方治水大会の日程、会場等は、これから決定いたします。

お詫びと訂正

本紙「治水」第632号(12月号)2ページ掲載の記事の中で、左段22行目の佐藤信秋技監は「佐藤信秋事務次官」の、右段11行目の国土交通省技監は「国

土交通事務次官」の誤りでした。ご迷惑をおかけいたしましたことを深くお詫び申し上げまして、ここに訂正させていただきます。